

2017年度 ミーハ・ロギーナ氏 サクソフォン 特別講義

1. 日 時 : 2017年12月19日(火)15時15分~16時45分

2. 場 所 : O号館 101教室

3. 対象学生【必修】 : サクソフォン専攻生 学内ののみ他聴講可

4. 講 師 紹 介 : ミーハ・ロギーナ氏 (Miha Rogina)

スロヴェニア、プトウイ生まれ。スロヴェニア国立音楽大学を卒業後、セルジーポントワーズ音楽院、ヴェルサイユ音楽院、研究過程を一等賞にて卒業。その後イーストマン音楽院(アメリカ)にて研鑽を積む。06年パリ国立高等音楽院を首席にて卒業し、同音楽院第3課程にて Jacques Tys (オーボエ奏者)、Boris Garlitsky (ヴァイオリン奏者) に師事。

これまでに、アルプス - アドリア - ドナウ国際サックスコンクール(スロヴェニア)、マルコフィオリン国際サックスコンクール(イタリア)、バイロイト国際管楽器コンクール(ドイツ)、アドルフサックス国際サックスコンクール(フランス)、ベニドーム国際管楽器コンクール(スペイン)、ユンファム国際コンクール(フランス)、サクシアナ国際サックスコンクール(フランス)を含む、10以上の国際コンクールで1位入賞、ロンデックス国際コンクール(パンコク)、アドルフサックス国際サックスコンクール(ディナン)で入賞を果たすなど、ヨーロッパ音楽界において注目を浴びる気鋭のサクソフォン奏者。

アメリカ、アジア、ヨーロッパ全土の各地でリサイタル、室内楽演奏会、音楽祭等に出演。これまでに、スロベニア国立管弦楽団、ウィーン交響楽団、ホッフェール管弦楽団、マリボロ管弦楽団と共にパリ・セルマー社、ソシエテ・ジェネラル、スロベニア文化庁、メイエー財団を含む数々の団体から奨学金を授与される。現在、スロヴェニア国立音楽大学で教授を務める傍ら、パリ国立高等音楽院の入学試験や、数々の国際サックスコンクールで審査員を務め、ヨーロッパやアジアで積極的にマスタークラスを行うなど、教育活動にも余念がない。

2015年ウィーン国立音楽大学指揮科を最優秀の成績で卒業。スロヴェニア放送交響楽団、スロヴェニア国立管弦楽団と指揮者として共演、今後も両オーケストラとの共演が決まっている。2016年よりスロヴェニア国立音楽大学吹奏楽団の指揮を務める。ウィーン楽友協会合唱団団員。

5. 講 義 概 要 :

* ミーハ・ロギーナ氏 サクソフォン コンサート *

Edison Denisov: Sonata for alto saxophone and piano

エディソン・デニゾフ: アルトサクソフォンとピアノのためのソナタ

I Allegro

II Lento

III Allegro Moderato

Luciano Berio: Sequenza IXb

ルチアーノ・ベリオ: セクエンツァ IXb

Fazil Say: Suite

ファジル・サイ: 組曲～アルトサクソフォンとピアノのための Op.55

I Allegro

II Andante

III Presto

IV "Ironical"

V Andantino, quasi lullaby

VI Finale. Presto

Paul Hindemith: Viola Sonata Op.11-4

パウル・ Hindemith: ヴィオラソナタ Op.11-4

I Fantasie

II Theme mit variationen

III Finale (mit variationen)